

---

# ぐるりゲルゲル

鱗斗

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ぐるりぐるぐる

### 【コード】

N2689BA

### 【作者名】

鱗斗

### 【あらすじ】

くるり、くるりと。彼女の世界は回っている。これは、少女を取り「巻く」世界の物語。かき「回される」、物語。

前作「ぷらす・まいなす・ぜろ」の続編にあたる物語。

じゃあ、まず、お友達紹介してくれるかな？

私の名前は夢見崎ぐるり。四歳。保育園児。皆からは『ぐるぐる』、『ぐるりん』、『ぐるたん』などと呼ばれています。名前の通り、くるくる回るのが好きです。さんはんきかんとやらが強いのでしょうか。バットを頭につけながら三回回りゴールまで走るといふ競技をやっても全然目が回りません。百回回っても目が回りません。趣味は回ることに逆立ち。世界がぐるりと反転するのが心地よいのです。そんな私には「普通」な友達と、「異常」な友達が居ます。今日はその友達と遊ぶ日です。折角だから、その友達を紹介しようと思います。

ピンポン、と家のチャイムが鳴りました。お母さんが出ました。

「ぐるちゃん、お友達がきたわよー」

「はいはい」

私は逆立ちしながら階段を降ります。お母さんには危ないから止めて、と言われたことがあります。こっちの方が早く進めるから私はひんぱんに逆立ちします。服がめくれようと気にしません。

「いち、にーの、よん？」

三段飛ばしで階段を駆け下ります。最後には、腕の力で飛んで、足から着地してふいにつしゅ。ぐるりと世界が元通り。幸い、お母さんには気づかれてません。

真っ黒にぬられたドアを開くと、そこには私のお友達が2人居ました。

「やつほー、善ちゃん黒ちゃん？……と黒ちゃん（兄）」

「やあ、ぐるりちゃん？」

この子が「普通」のお友達。善ちゃんこと、人吉善吉くん。名前の

通りのお人好し。とっても優しい子です。

「おはよう、ぐるり。……兄貴が来ているが、無視して構わない」  
この子が「異常」のお友達。黒ちゃんこと、黒神めだかちゃん。すっごいお金持ち。名前の通り、上から目線の発言をするけど、嫌味にならない変わった子。善ちゃんとは二歳の頃から友達だそうです。  
「むー……二人とも、そのぐるりって呼び方止めてよう。『ぐるぐる』、『ぐるりん』、『ぐるたん』、『ぐるんちゃん』のどれかで呼んでっ？」

私はぐるりという名前が好きではありません。めだかちゃんや、善ちゃんは、みんな女の子らしい、男の子らしい名前なのに、ぐるりという名前は女の子や男の子どころか、人間以外の生物につけられてそんな名前だからです。だから、私はあだなで呼ばれる方がよっぽど自分らしいと思うのです。ちなみに黒ちゃん（兄）は言われた通り無視します。あの人は変態さんです。私や黒ちゃん、ひどい時には善ちゃんまでも「変態の目」でみてきます。

「んー、じゃあぐるんちゃんが良い？」

「よろしい 善ちゃんには飴ちゃんを差し上げよう！」

ぽいっと渡したのはブドウ味の飴ちゃん。善ちゃんは飴ちゃんが大好きなのです。そしてもちろん。

「あ、飴ちゃん。私も飴ちゃんが欲しいぞー！」

黒ちゃんも飴ちゃんが大好きです。

「じゃあ、私のことをぐるり以外の名前で呼ぶがいいー！」

「くっ……んぬぬー……」

黒ちゃんは他人の事をあだなで呼ぶことをしません。そういうのにあまり慣れていないのでしょうか。

「じ、じゃあ、ぐるりん……」

「よろしい」

サーブスで黒ちゃんには2個、飴ちゃんをあげました。ちなみに、私も飴ちゃんは大好きです。私は、2人を部屋に連れていった後、『ぐるりん専用飴ちゃんBOX』の中から口リポップを取り出しま

した。うずまきもようのロリポップが私は一番好きなのです。

飴ちゃんと逆立ちとお友達。

私の世界は、今日も充実しています。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2689ba/>

---

ぐるりグルグル

2012年1月6日22時50分発行